

10月が終わり、月別カレンダーも残り2枚となりました。10月下旬から障害者を対象とした就職面接会が始まりました。関地区・美濃地区・岐阜地区の3つの地区に、スタッフが複数人ずつ参加します。新型コロナウイルスのために、久しぶりの開催となり、現実には求人よりも求職者が多く、いわゆる有効求人倍率とは乖離していると感じました。その中で自分をアピールして、再面接、実習、面接試験などへつながり、晴れて就職へとつながることを願っています。

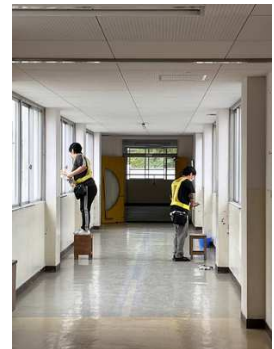
面接・就職を希望する企業選びの相談や、面接会場・企業見学への引率・同席などの対応を支援員の重要な業務として行っていますが、日常の業務をしながら小さな馬力でまかなっていくことは難しく、スタッフの派遣先に急遽日程変更や中止をお願いしなければならない時もありました。ぜひ組織としての対応策を検討していただき、スタッフ一人一人の希望がかなえられる環境整備を期待しています。それまでは小さな支援を受けて、お互いが協力し助け合いながら取り組んでいけたらと思っています。

先月末に、スタッフ1名が進路変更のために退職しました。新しい目標に向かって頑張っていてほしいと思います。残ったスタッフも新しい目標や環境に向かって、面接や実習といった場面はもちろんですが、毎日毎日、地道に取り組んでいってくれると願っています。

窓ふきは大変



児童にとって、高所の窓ふきは難しいです。時々、天気の様子を見ながら室内の作業として取り組みます。棒を使ったり、椅子に乗ったりして危険ではない範囲で取り組みました。カーブの形をした窓枠があったりし、試行錯誤しながら取り組みました。



練習のとなりで



運動会に向けて、一生懸命練習をする合間を縫って、グラウンドの整備を一生懸命行いました。トラックやフィールドの中にまで、芝生や草が生えています。道具を使って少しでも危険がなくなるように、暑い日でしたが汗を拭き、水分を取りながら作業しました。

高校も草や木がいっぱい



高等学校も敷地が広く、除草や剪定が必要となっています。テニスの打球音に気持ちを取られずに、作業に集中して取り組みます。生垣バリカンもなかなか上達してきました。